

特徴のある現場に対応する機器更新で社会インフラを維持

大型交通施設の電話交換システムリプレイス

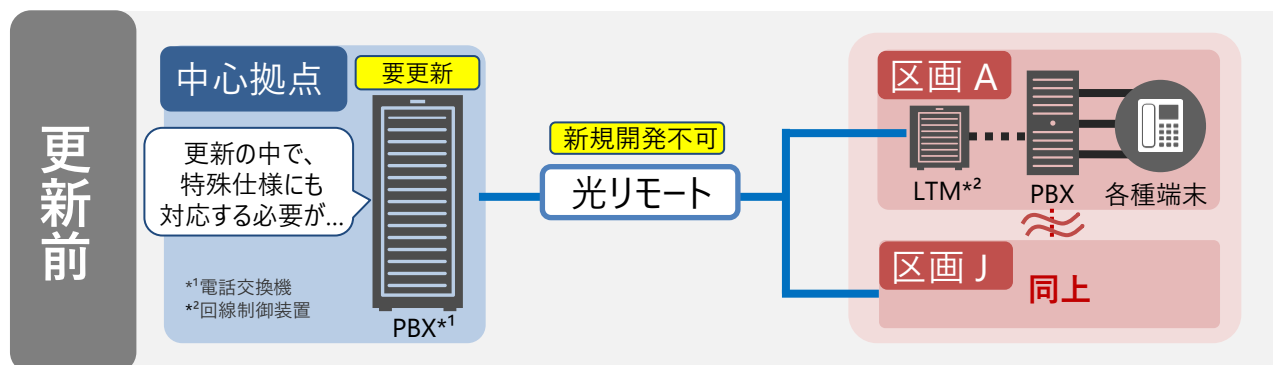
事例紹介 vol.7 2025.05.26

背景

とある大型交通施設では、業務用電話交換システムのリプレイス時期が迫っていました。そこで、交通施設内の特殊仕様に対応しつつ、現行仕様を踏襲できるベンダーとして、日立情報通信エンジニアリングが対応しました。

更新前の課題

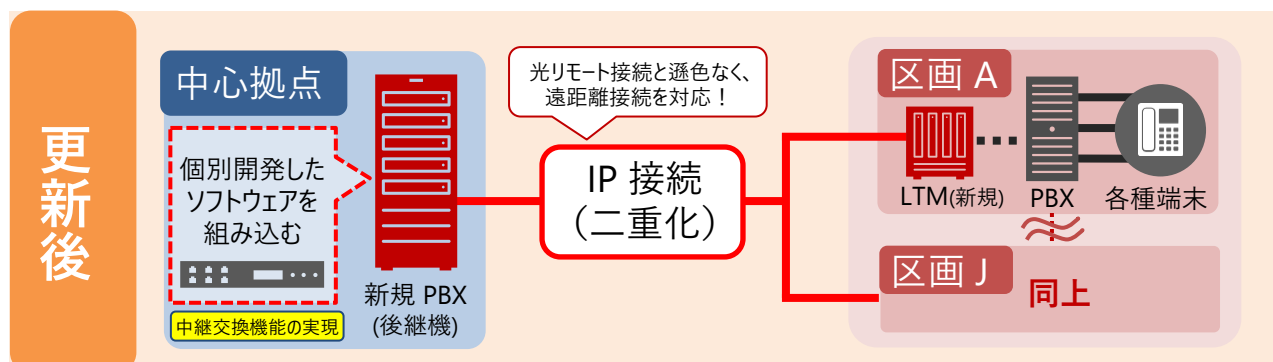
- 現行仕様を踏襲した更新を希望しているが、現行運用中の光リモートユニット接続は部品製造中止により新規開発ができない
- 既設機能を含む施設の特殊仕様(回線二重化対応、課金管理用情報付加など)への対応



当社の解決策

- 現行の機能を可能な範囲で後継機に組み込んだリプレイス
- 継続不可な光リモートユニット接続はIP接続で対応
- 交通施設の特殊仕様には個別開発で対応

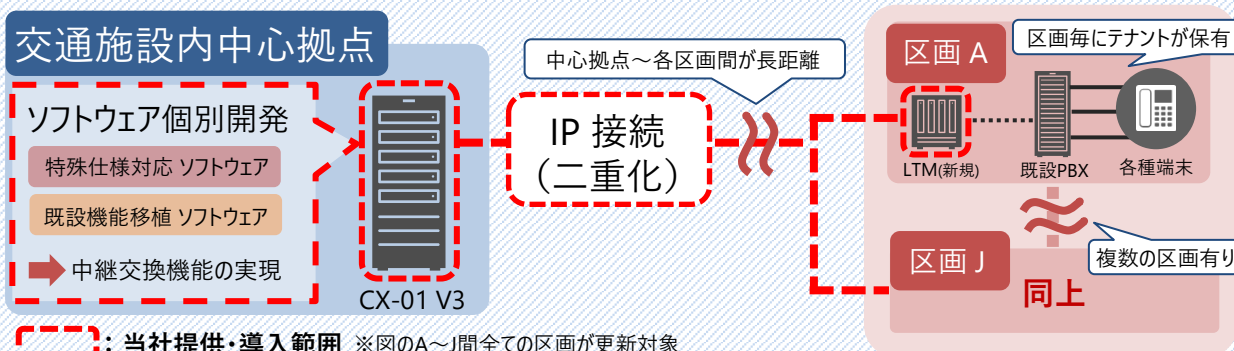
※図のA～J間全ての区画が更新対象



当社が提供したもの

大型交通施設用の特殊仕様に対応する個別開発を組み込んだ
業務用電話交換システム日立IP-PBX NETTOWER CX-01 V3を提供します。

システム構成図



[赤点線枠]: 当社提供・導入範囲 ※図のA～J間全ての区画が更新対象

当社が提供・導入するもの	役割	想定効果
日立IP-PBX NETTOWER CX-01 V3	電話交換機	各区画のテナント企業が保有する利用機器を中継し、外部との通信手段を構築、確立。 (= 中継交換機能の実現)
LTM IP接続 (二重化)	遠距離接続	
特殊仕様に対応した下記ソフトウェアの個別開発 ・リモートユニット接続回線部を含めた回線二重化対応 ・拠点PBX課金管理のための課金管理情報付加 など	特殊仕様と既設機能移植への対応	

当社を選んでいただいた理由



希望に沿った提案と柔軟な対応に信頼を寄せることができました。
特に、接続方法について、新たな方法を提案いただきました。

当施設の特殊仕様に個別開発で対応してくださり、PBXと連携したソフトウェア開発に日立情報通信エンジニアリングの強みを感じました。



さまざまな業種のご相談を承ります

当社は、本事例のようにお客さまの希望に沿った業務用電話交換システムの更新対応が可能です。各現場の特性に応じた最適なソリューションや個別対応を提供し、交通インフラ施設の現場にも貢献します。ぜひお気軽にお声がけください。

※記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。 ※ちらしに記載の仕様、外観は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
※印刷物につき、実際の製品・画像の色調と異なる場合があります。
※本製品の開発・製造は、原則として日本国内での使用を想定して実施しています。本製品を輸出する際は、輸出者の責任において、輸出関連法令等を遵守し、必要な手続きを行ってください。
海外の法令および規則への適合については当社はなんらの保証を行うものではありません。なお、ご不明な場合は、販売店へお問い合わせください。

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3番3号クイーンズタワーB 22階
〒220-6122 www.hitachi-ite.co.jp/

May.2025

©Hitachi Information & Telecommunication Engineering, Ltd. 2025.
All rights reserved



当社事例